

刊行にあたって

1840年、世界初の歯科医学校が米国メリーランド州でHorace H. Haydenらにより設立された。そして、歯科医師という職業が生まれた。188年前のことである。

1960年代にスウェーデンで開発されたインプラントは、この200年近い歯科医療の歴史のなかでも、きわめて社会的貢献度の高い治療法として世界的に期待され注目されてきた。

日本では1990年代に多くの歯科医師がこのインプラントシステムを学び、臨床医を中心に全国的に展開していった。けれども、基本的な外科手術式や十分な知識のないままに普及していくインプラントは、歯科医師の捉え方や考え方、そして技術料に大きな隔たりがあり、私はいつかインプラントは社会的に誤認されてしまうのではと、危惧を抱いていた。

そして、東京歯科大学病理学講座の井上 孝教授と共著で、2006年に『裸のインプラント』、2008年に『それからの裸のインプラント』を著し、当時のインプラントロジストに対して警鐘を鳴らしてきた。

しかし、残念ながら私たちが予想していた以上に多くの問題が勃発し、テレビや雑誌等のマスコミからもインプラント治療に対する社会的な非難を受ける結果となってしまった。


一方で、インプラント治療を正しく理解し、実践してきた志の高い歯科医師たちは、逆風のなかにあっても多くの患者から感謝され、指示され続けている。

私は、歯科医師としての人生の大半をインプラント治療に費やしてきたが、インプラントにより多くの患者を救うことができたと信じている。そしてこれからの若い歯科医師の方たちへ、症例を通して私のメッセージをお伝えできればと考えている。

本書が、インプラント治療に携わる先生方に少しでも貢献できることを、心より願っております。

2019年1月吉日

原 正幸



contents

はじめに

- インプラントは天然歯のためにある手段 ————— 6
- なるほどインプラント学 ————— 12
 - ・ これを知らずしてインプラントに手を出すべからず
 - ・ cinema version “インプラントの用心棒”

11 presentations

- ① 当たり前だが、まずは口腔機能の改善から始まった ————— 22
 - ★ 誰もが知っている感じ The Orthodox
- ② 骨幅さえ確保できれば、なんでもできそうな気になる? ————— 26
 - ★★★ いけいけの感じ やっちゃえ? みたいな
- ③ 臨床において「慎重すぎる」はない。とくにインプラント治療では ————— 36
 - ★ 地震はリカバリーできるが……動揺を感じたとき
- ④ 歯科医師の技術と良識はシステムと同じく進化しているだろうか? ————— 40
 - ★ 「長期にわたり天然歯を残す」30年前からの変わらぬ思い
 - ★★★ 金権? のにおい 儲けに走るイメージを拭う
- ⑤ シンプルがいちばんであることに気づく ————— 48
 - ★★ 目指すは simple is best!
 - ★ 何も足さないケースでも長期的な安定が得られた!
- ⑥ 最終的な術後のイメージを予想できるか? ————— 62
 - ★★ だめなら病院に送る? 責任をもってやり遂げる覚悟が……
- ⑦ 困難なケースはどうする? ————— 66
 - ★★ 寒い感じ 紹介しちゃえ、みたいな?
- ⑧ ペリインプランタイトィス発症は防げないものか? ————— 72
 - ★ すたれていくのでは…? ちょっと苦しい感じ
- ⑨ これからインプラントはどう展開していくのだろう ————— 82
 - ★ まだ珍しい感じ チャレンジは大切だけど……
- ⑩ 失敗例の経験から学んだこと ————— 86
 - ★★★ 先達に学び慎重に進めていく
- ⑪ サイナスリフトを確実に行う手法があれば…… ————— 92
 - ★★ 珍しい感じ 「やってみたい!」

★の数は症例の難易度を示し、1～3まで数が多いほど難度が高くなります。

おわりに

- オッセオインテグレーション ————— 108
- これからのインプラント ————— 120

臨床のお役立ちテクニック

- ブロック骨採取法 ————— 126
- G.T法 (ガムトリミング法) ————— 134
- G.T法 トリミングの目安 ————— 136

あとがき

- letter from prof. Isaksson ————— 140
- ブレの無い学問 ————— 142
- 超一流の方々に学び、ともに歩む喜び ————— 143

column

thinking time	DMFとDFBからPEMへ、そして歯学から医学へ ……20
	歯科医師としての自身のレベルを問うてみよう ……43
	Bio-Oss® って本当に大丈夫? ……58
	サイナスリフトの本来の目的 ……97
QA	「チタンメッシュ」「ソケットプリザベーション」「人工骨」のその後 ……104
	増生と造成の違い ……24
	3種の骨はどうなったか? ……30
	骨造成は、手技により結果に差が出るのでしょうか? ……32
	放射線治療を行った患者へのインプラント治療は禁忌? ……39
	チタンメッシュ下の骨様組織の成熟について ……57
REPORT	骨補填材も異物 ……35
	インプラントありきの治療は口腔内を破壊する ……47
warning	インプラントありきの治療は口腔内を破壊する ……47
Caution!	ビスフォスフォネート系の薬剤を使用している患者に対するインプラント治療 ……66

* 参考資料 ……137